

AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2021 年第 3 四半期）

グラフの読み方

図 1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDP には名目値と実質値があり、そのうち実質 GDP の伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDP を実質 GDP で除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDP の価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図 2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の間を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1 とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2 は M1 に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図 3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 自国通貨と米ドルとの交換レート（ドル／自国通貨）。指数の上昇は自国通貨高、下落は自国通貨安を示す。自国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図 4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL : 093-583-6202 / URL : <http://www.agi.or.jp>

日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

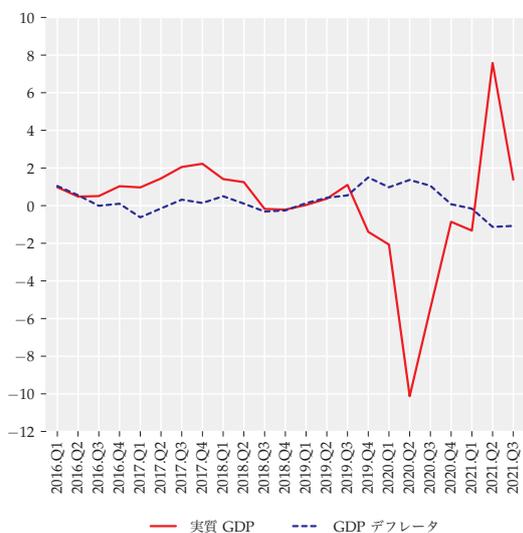


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

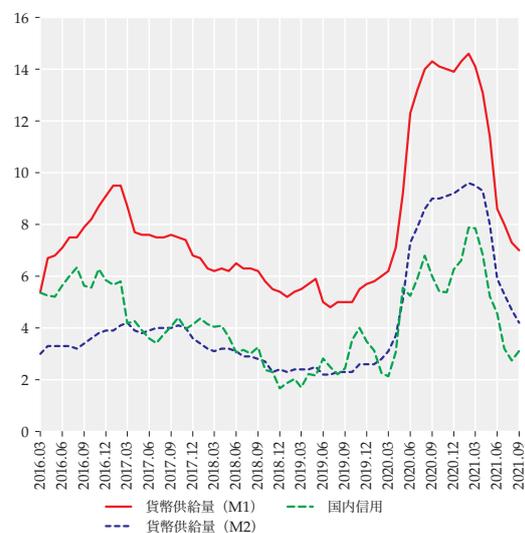


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

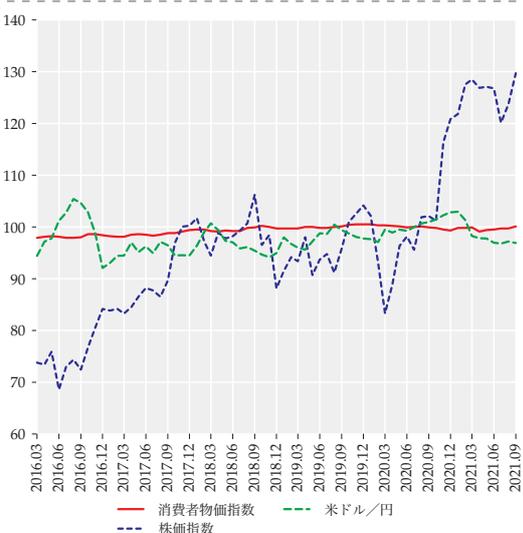
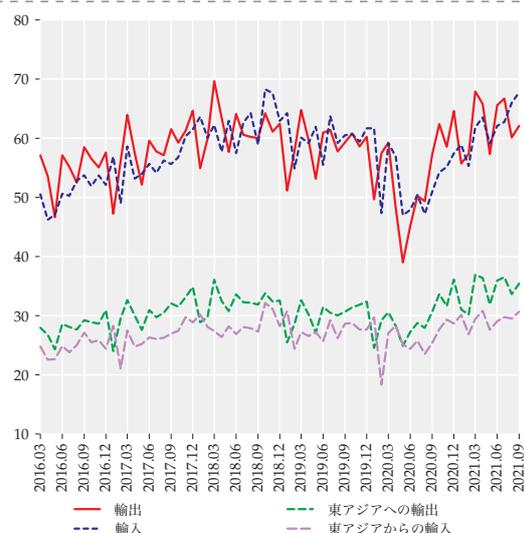


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



日本経済の動向 (2021年第3四半期)

2021年第3四半期の実質 GDP の伸び率は 1.38 % となり (前年同期比, 速報値), 前期の 7.58 % から大きく減速した。プラス成長を維持した格好だが, これは前年同期のマイナス成長からの反動であり, 2019年第3四半期と比べると 4.15 % の下落である。新型コロナウイルス感染拡大の影響により, 消費や設備投資の低迷が続いている。第3四半期の民間最終消費支出は前年同期比で 0.77 %, 民間企業設備も 1.39 % と上昇幅は小さく, いずれも前年同期の大幅な下落 (それぞれ -7.21 % と -10.92 %) を取り戻せていない。新型コロナウイルスの2回目接種率は 75 % を超え, 感染の第5波の収束にともない, 入国制限やイベント開催制限が緩和されつつあったが, オミクロン株の登場で先が見通せなくなった。ワクチンの3回目接種も始まり, ウィズコロナにおける社会経済活動のあり方の模索が続く。そのような中「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」を掲げる岸田内閣が発足し, その政策動向に注目が集まっている。 (田村一軌)

中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

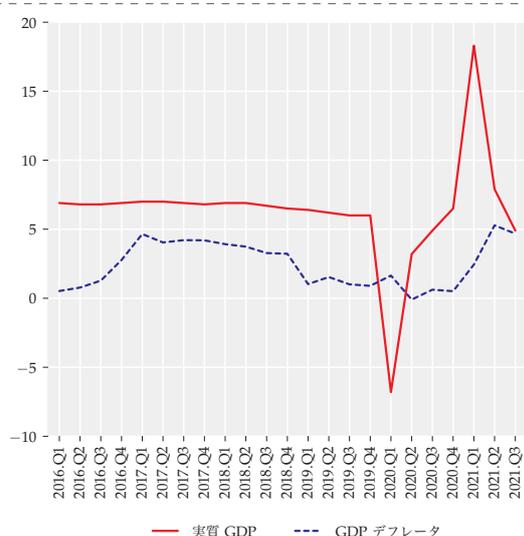


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

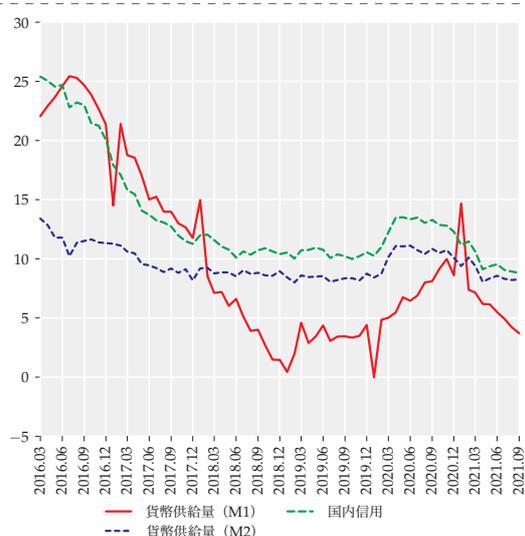


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

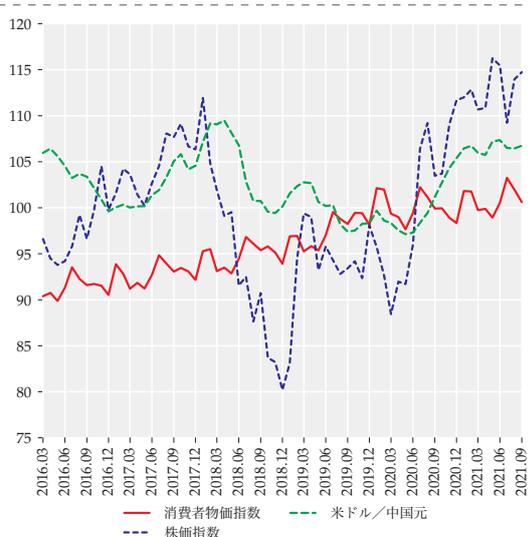
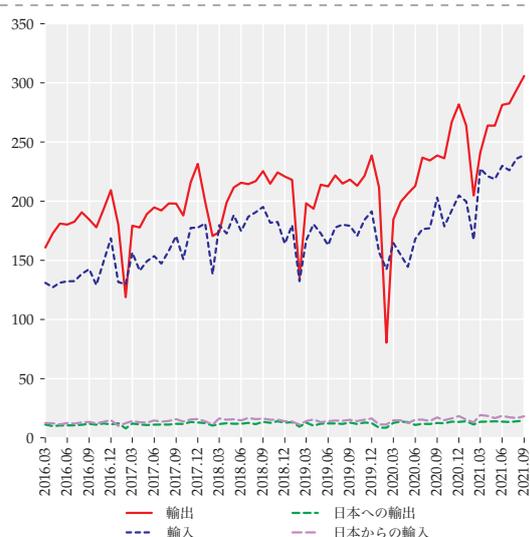


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



中国経済の動向 (2021年第3四半期)

国家統計局の発表によると、第3四半期の実質 GDP 成長率は 4.9 % となった。産業別の成長率をみると、第一次産業は 7.1 %、第二次産業は 3.6 %、第三次産業は 5.4 % になっており、いずれも第2四半期の成長率を下回っている。特に、「恒大集団」の財務危機が象徴するように、金融機関の不動産関連企業への融資が厳しくなっているので、第二次産業における建築業と第三次産業における不動産サービス業は、そろってマイナス成長になった。第3四半期の実質 GDP 成長率に対する支出面の構成別貢献率をみると、国内最終消費は 78.8 %、固定資産投資は -0.6 %、純輸出は 21.7 % になっており、不動産セクタの減速が固定資産投資の低迷に大きく影響している。コロナ感染の抑制の成功による内需の強い回復は、中国の堅調な経済成長を支えているが、「共同富裕」(共に豊かになる)政策の下で、大手 IT 企業・学習塾産業そして不動産産業に対して、次から次へと厳しい規制が実施されており、内需拡大戦略へのマイナスの影響が懸念されている。(戴 二彪)

香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

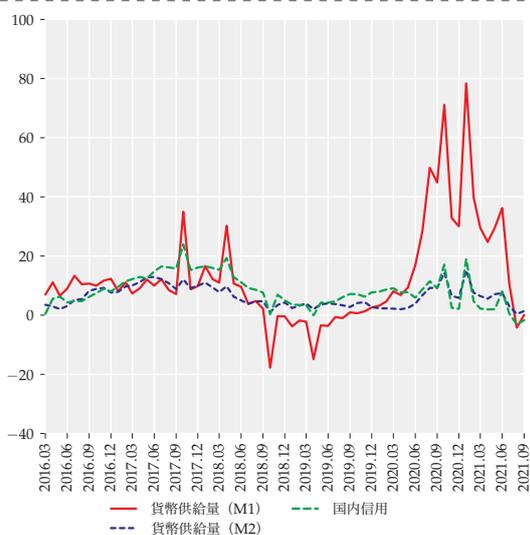


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

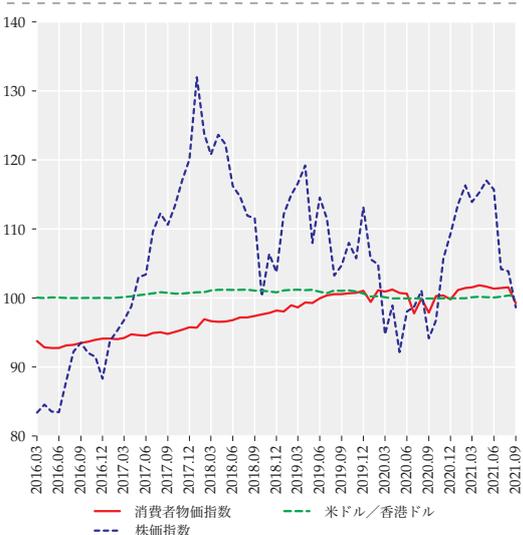
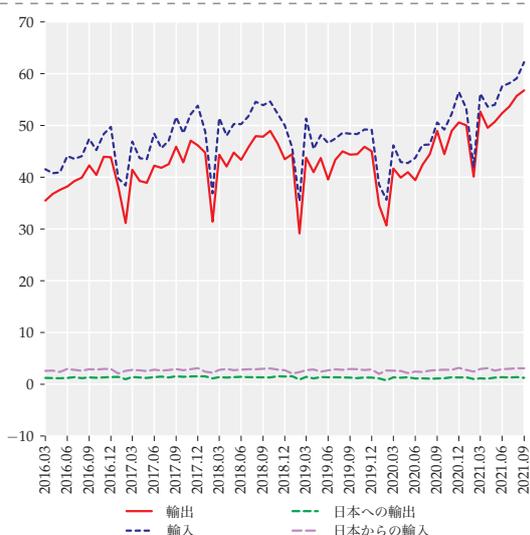


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



香港経済の動向 (2021年第3四半期)

香港政府の発表によると、2021年第3四半期の対前年同期比実質 GDP 成長率は5.4%となった。第1四半期の8.0%と第2四半期の7.6%より若干減速したものの、堅調に推移していると言える。中国・米国・欧州など世界主要市場の経済回復につれて、第3四半期の香港の財貨総輸出（中継輸出と地場輸出の合計）は対前年同期比14.2%増となり、第1四半期と第2四半期の伸び率（30.1%と20.2%）を下回るが、輸出額は第1・第2四半期を上回っている。第3四半期のサービス輸出全体も、対前年同期比4.2%増と前期より改善した。また、香港域内のコロナ感染状況は顕著に改善されており、第3四半期の民間消費の伸び率は対前年同期比7.1%増、固定資産投資伸び率も対前年同期比10.8%増、とそれぞれ堅調に推移している。一方、米国の金融緩和縮小政策への調整に同調し、香港のマネーサプライが減少し始めており、香港市場の株価は調整局面に入っている。11月に、香港政府は、2021年通年の経済成長率予測値を6.4%へ更新した。（戴 二彪）

韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

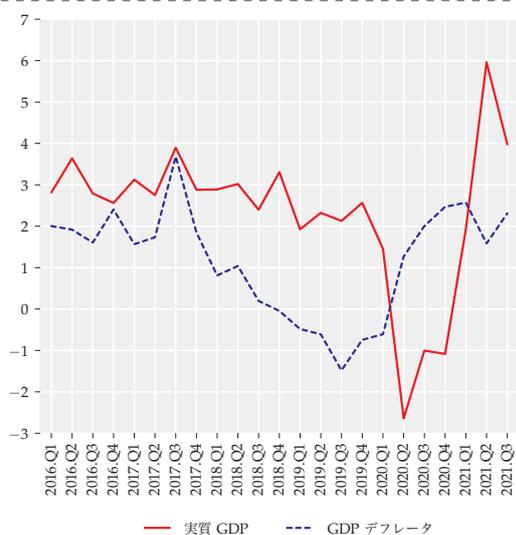


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

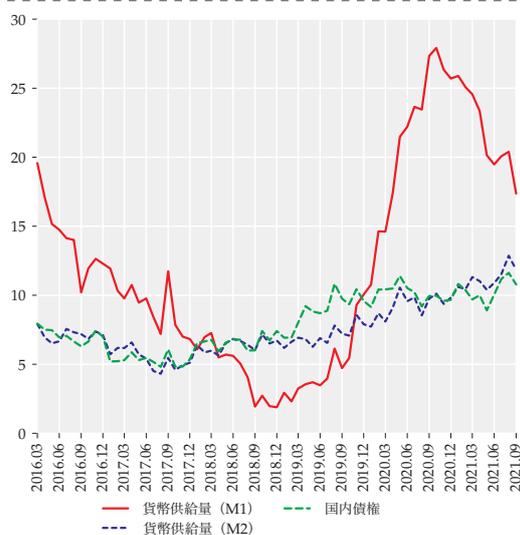


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

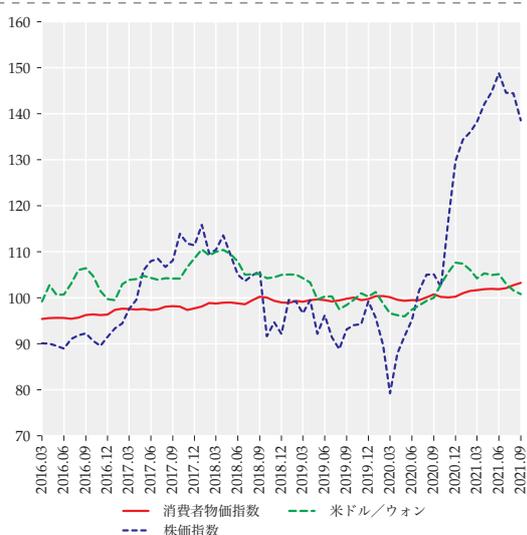
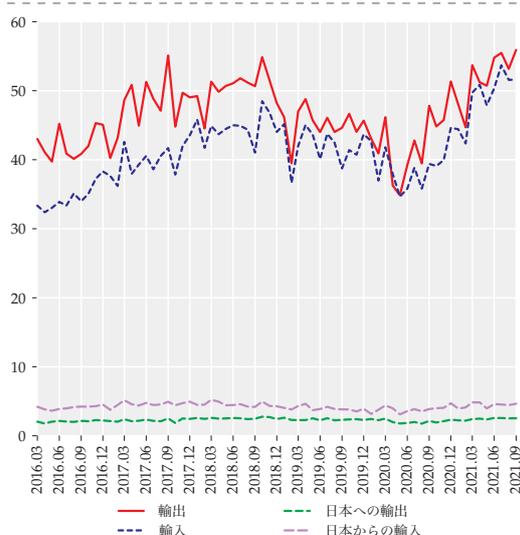


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



韓国経済の動向 (2021年第3四半期)

韓国の2021年第3四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は3.98%となり, 前期の5.96%から鈍化した。9月末の株価指数は3,068.82, 1米ドル=1169.54ウォンであった。1年以上続いた株価の上昇がひと段落し, 昨年末からのウォン安傾向がより鮮明となった(6月末の同指標は3,296.68, 1121.30ウォン)。中国経済をはじめとする世界経済の回復基調から, 輸出が26.52%と前期の42.06%からプラス幅を大きく下げるものの, 上昇傾向を示した。また, 輸入も前期の37.57%から引き続き, 37.52%と大幅な伸びを示した。ワクチン接種を進めることで, 行動制限の緩和に努めてきたが, 結果, 新規感染者数が過去最高を更新するようになった。一方で, 経済政策として, 政策金利を段階的に過去最低の0.50%まで引き下げたが, 家計債務の拡大による金融不均衡の影響が大きく, 8月26日に続き, 11月25日には, 政策金利を1.00%に引き上げた。決して, 経済の回復によるものではない。(坂本 博)

台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

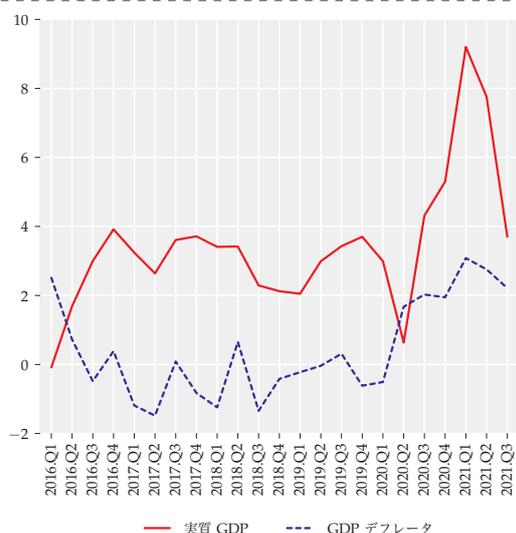


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

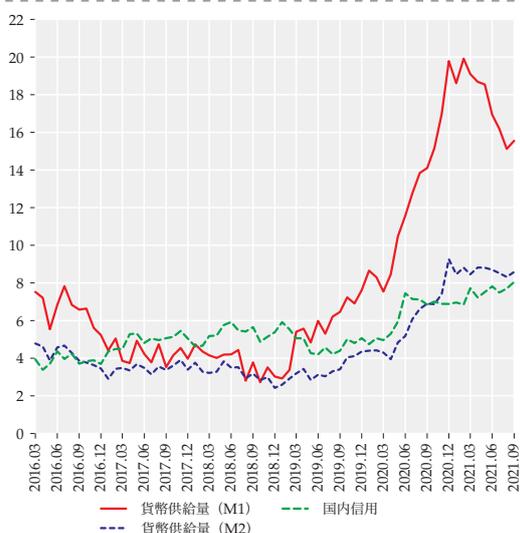


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

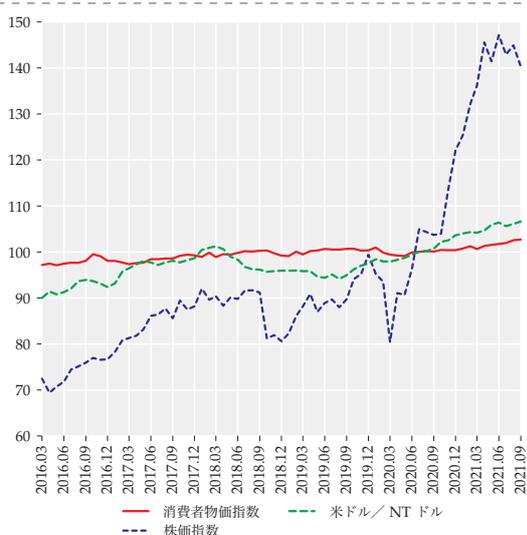
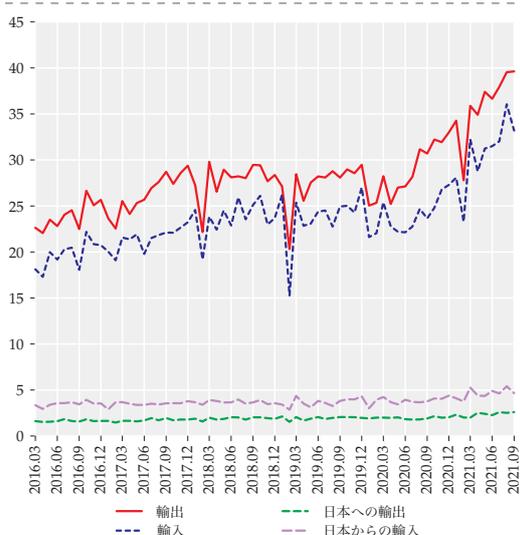


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



台湾経済の動向 (2021年第3四半期)

台湾の経済成長率は、2021年第1四半期～第3四半期で、各々、9.20%、7.76%、3.70%である。2021年通年の成長率は6.09%、1人当たりGDPは3万2,787米ドルとなると予測されている（主計総處2021年11月26日付資料）。国際貿易では、2021年1～10月期の輸出額は3,642億米ドル、輸入額は3,104億米ドルで、対前年同期比の伸び率は、各々、30.0%と33.7%であった。主要輸出相手国・地域別にみると、中国・香港26.5%、ASEAN33.1%、米国29.1%、欧州36.6%、日本23.3%と全体的に高い数値を示している。最大の輸出品目である電子部品の伸び率は26.9%（うちICは26.9%）である。台湾では近年、従来型ハイテク産業の大企業がスタートアップとの連携により、デジタルトランスフォーメーションと新ビジネス開拓を推進している。例えば、Foxconn等のEMS（電子機器受託製造サービス）大手はヘルステック、AI、IoT、オートテックなどに探索を広げている。

(岸本千佳司)

インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

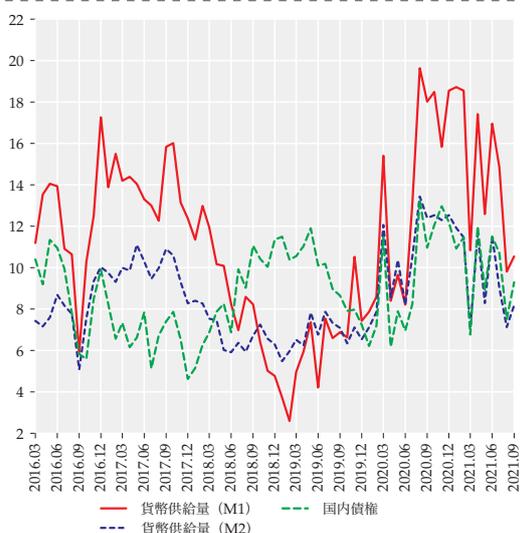


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

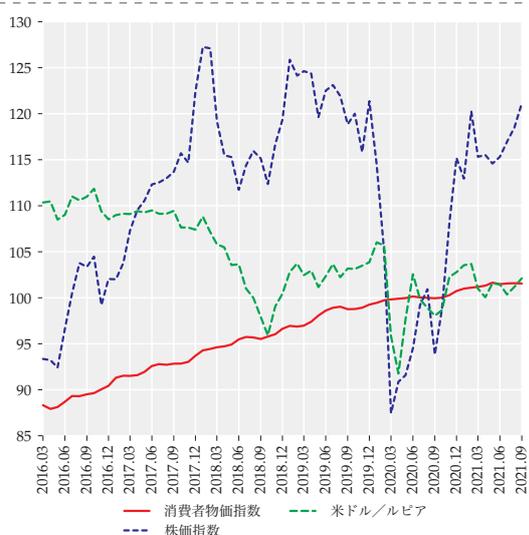
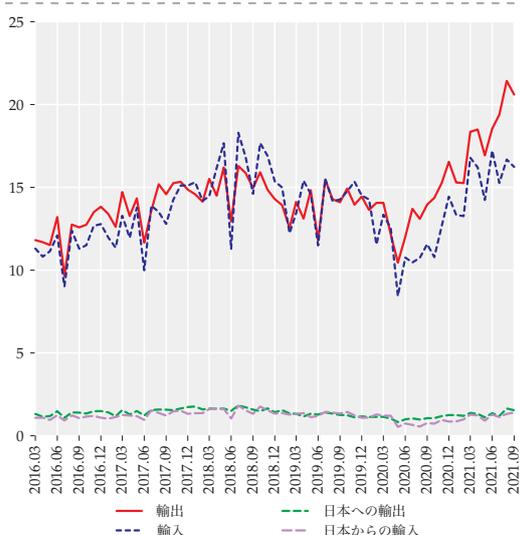


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インドネシア経済の動向 (2021年第3四半期)

インドネシアの2021年第3四半期における実質 GDP の伸び率は（前年同期比，以下同じ），3.51 % となり，前期の7.07 % と比べて，低い伸び率となった。6 月半ばから新規感染者が急増し，行動制限が再強化され，内需の低下につながったと思われる。外需は引き続き好調で，輸出は前期の55.9 % から50.7 % ，輸入は前期の50.2 % から47.0 % とやや落ちているものの，大きな伸びを示している。昨年末には1米ドル＝約14,200ルピアであった為替は，その後も14,000ルピア台を推移している。昨年末には5,979.07ポイントと急上昇した株価は，さらに上昇傾向となっている。2月に3.50 % に引き下げた政策金利は，その後変更していないものの，金融指標の伸びはやや鈍化している。人口大国のため，ワクチンの接種が進んでいないものの，目下，感染者の拡大は収まっており，行動制限も徐々に緩和されるようになった。しかし，外的要因もさることながら，オミクロン株の出現もあり，経済の回復は容易ではない。（坂本 博）

マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

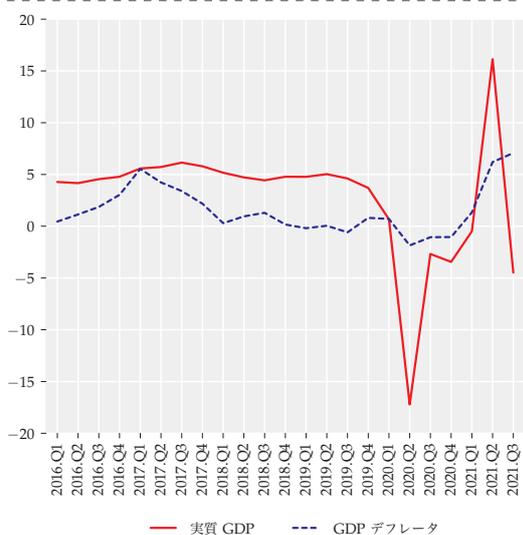


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

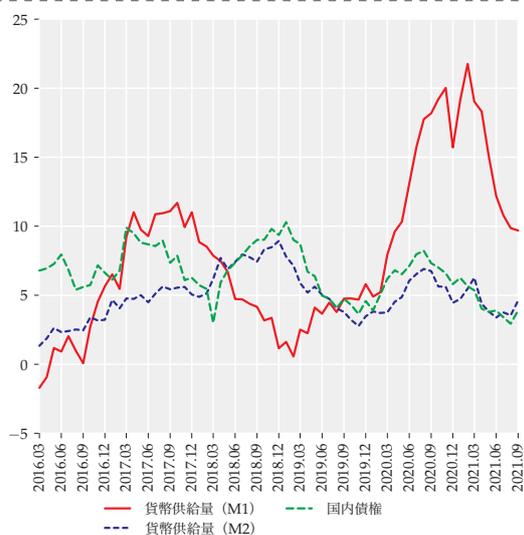


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

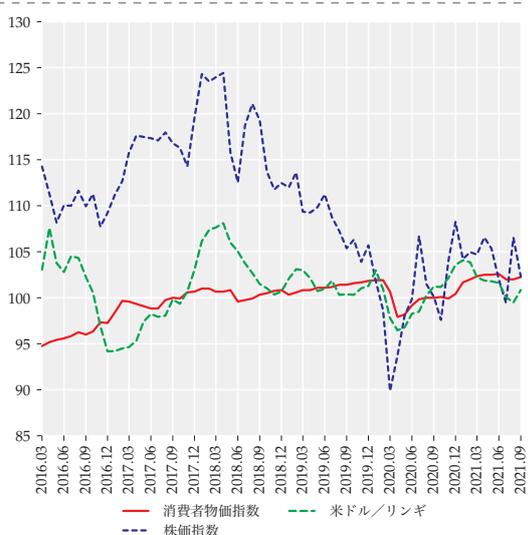
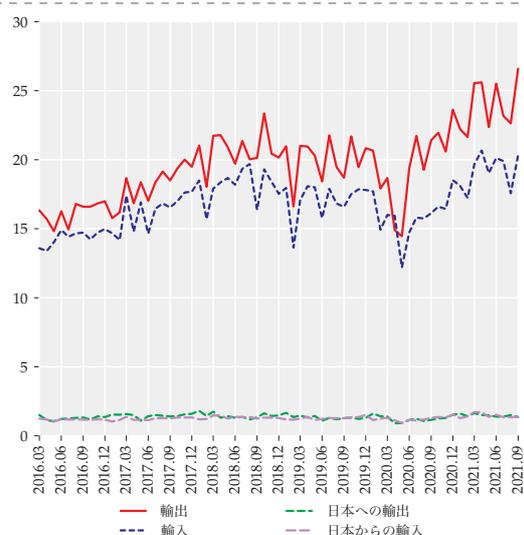


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



マレーシア経済の動向 (2021年第3四半期)

マレーシアの2021年第3四半期の実質 GDP の伸び率は(前年同期比, 以下同じ), -4.48%となり, 前期の16.14%から再びマイナス成長となった。6月からの都市封鎖による内需の落ち込みが激しく, 民間消費が前期の11.7%から-4.2%, 総固定資本形成も前期の16.5%から-10.8%といずれも大幅に下落した。一方で, 政府消費は前期の9.0%から8.0%とプラスを維持している。外需も引き続き好調で, 米ドルベースの貿易額は, 輸出が前期の50.70%から16.03%, 輸入は前期の39.60%から21.23%と伸び率は下がるものの, 過去最高水準を維持している。度重なる金融緩和による政策金利は, 1.75%を維持しているものの, M1の伸びに陰りが見られる。リングギおよび株価も, 2018年以降は低下傾向である。イスマイルサブリ新政権下, ワクチン接種が順調に進み, 8月末には, 新規感染者数は鈍化に転じるようになった。11月末には, シンガポールとの隔離なしでの陸路往来が再開されたが, オミクロン株の感染状況が懸念される (坂本 博)

フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

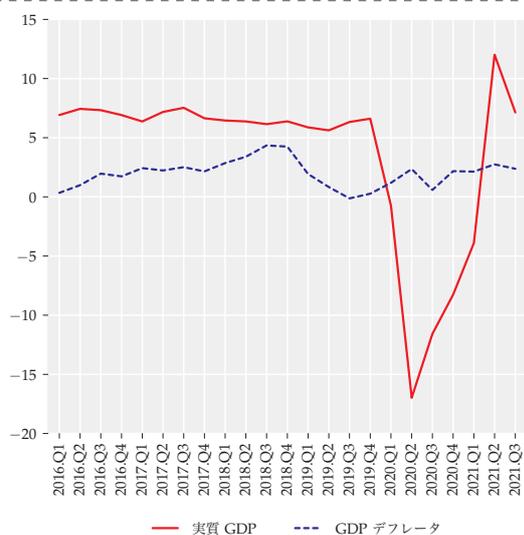


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

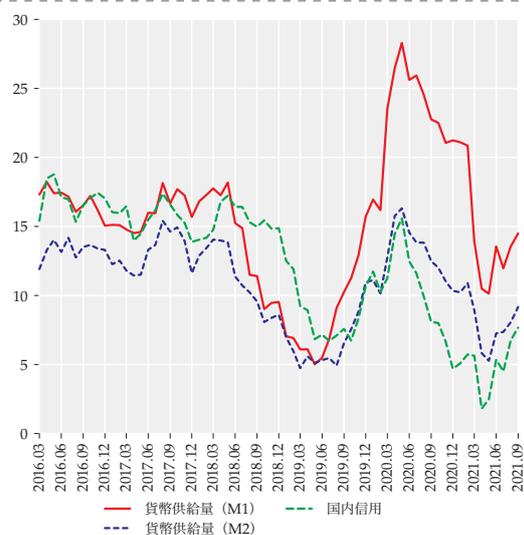


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

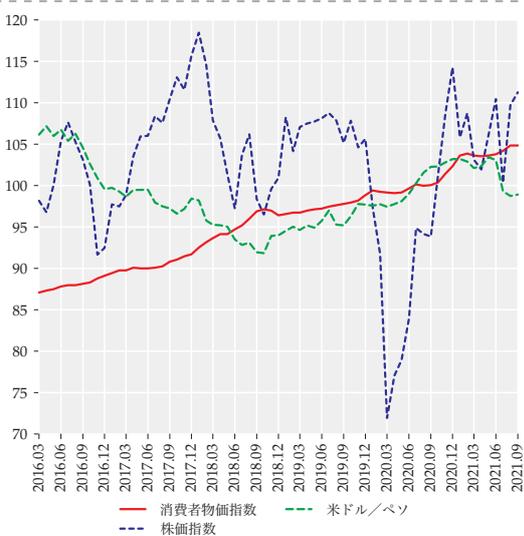
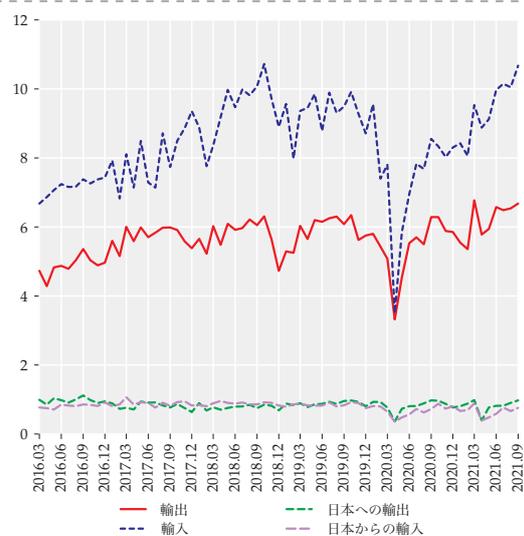


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



フィリピン経済の動向 (2021年第3四半期)

フィリピンの実質 GDP 伸び率は、2021年第1四半期～第3四半期で、-3.9%、12.02%、7.14%と推移した。第2四半期の高成長率は、前年同期の落ち込みからの反動増である。2021年第3四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、政府最終消費支出は13.6%（前期は-4.2%）とプラスに転じ、民間最終消費支出は7.1%（前期は7.3%）、総固定資本形成は16.0%（前期は39.8%）、財・サービスの輸出は9.0%（前期は27.8%）、同輸入は13.2%（前期は39.8%）と、前期に比べ減速した。第3四半期は、ASEAN 主要6カ国のうち半数（タイ、マレーシア、ベトナム）がマイナス成長となり、残り半数も前期に比して減速した。フィリピンはその中でも最高の成長率であった。デルタ株の感染拡大とワクチン接種の遅れが大きな要因とされる。フィリピンでは、7月半ばに一気に感染が拡大したが、外出・移動制限措置の強化により、9月から減少に転じた。

(岸本千佳司)

シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

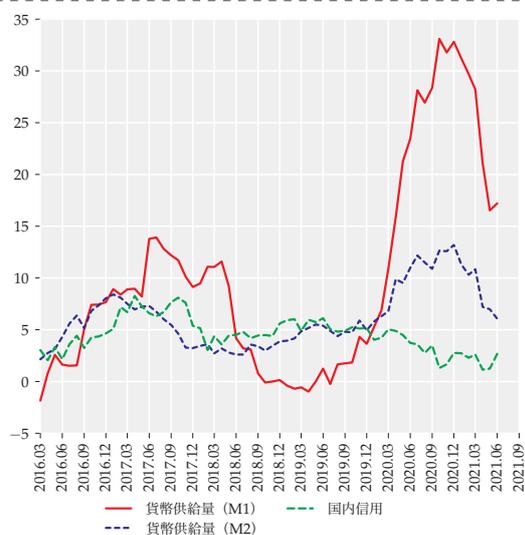


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

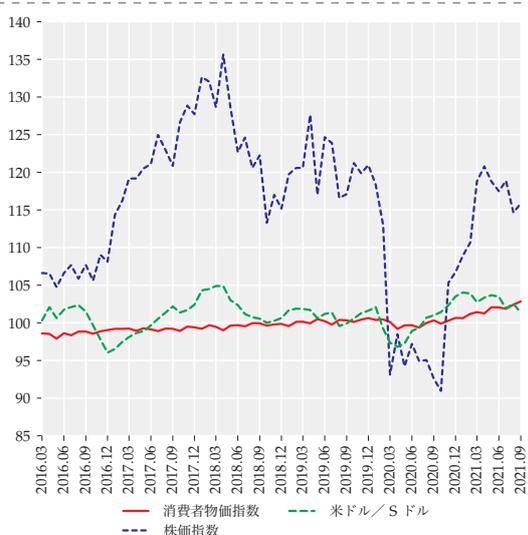
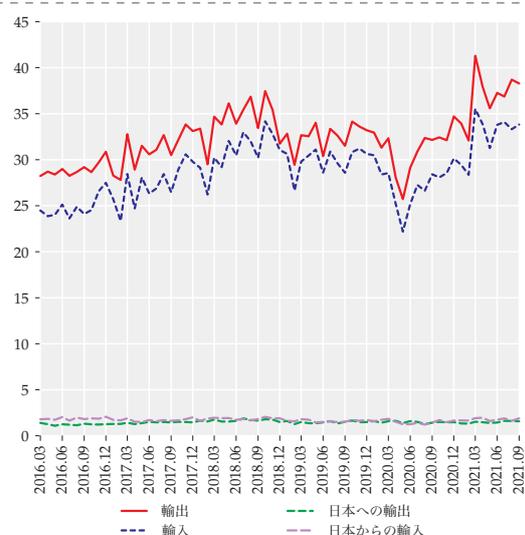


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



シンガポール経済の動向 (2021年第3四半期)

2021年第3四半期のGDPは前年同期比で7.1%拡大し、前期からの成長傾向を継続した。これにより、2021年の最初の3四半期のGDP成長率は7.7%になった。生産側からみると、製造業は前年同期比で7.2%増加し、前期に記録された17.9%の成長から減速した。建設部門は、公共部門と民間部門の両方の建設生産高が増加した前期の117.5%の成長から減速し、前年比で66.3%成長した。卸売業は、前期の3.4%の成長より加速し、前年同期比で5.9%成長した。卸売業の成長は、電子部品および通信機器・コンピューターの好調な卸売販売を背景にした機械・設備・消耗品部門の成長に牽引された。今年上半期の経済の予想を上回る業績と最新の国内外の経済動向を考慮して、貿易産業省(MTI)は、2021年のGDP成長率が約7.0%になると予想しており、さらに2022年には3.0~5.0%の成長を見込んでいる。

(アルバロ・ドミンゲス)

タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

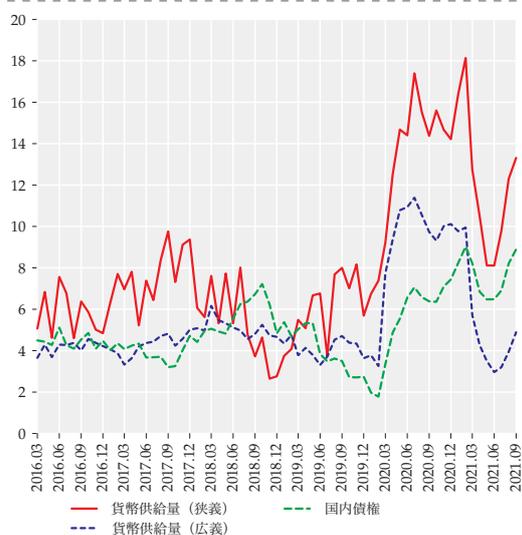


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

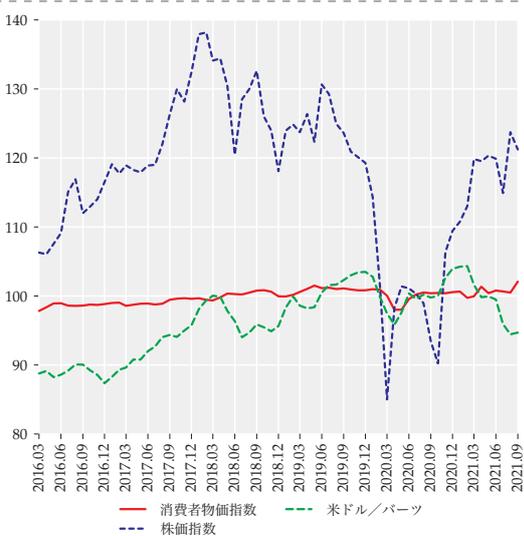
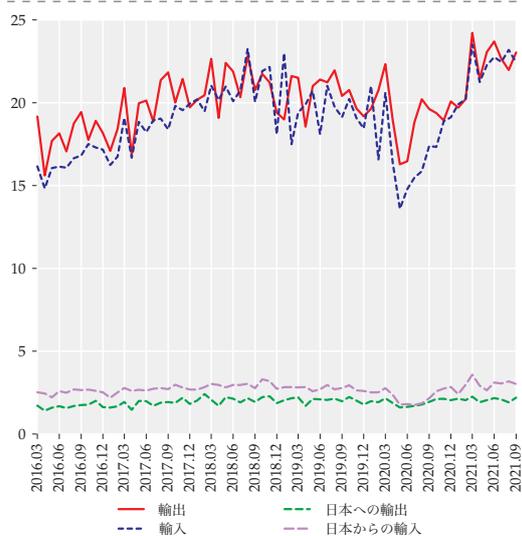


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



タイ経済の動向 (2021年第3四半期)

2021年第3四半期の実質 GDP 伸び率は前年同期比で -0.26% となり、前期の 7.55% から大きく減速した。生産側からみると、GDP の 3 割を占める工業部門が前期の 14.23% から -2.01% へと減速した。支出側からみると、GDP の 2 分の 1 を占める民間最終消費支出が前期の 4.81% から -3.15% へ、GDP の 4 分の 1 を占める総固定資本形成が前期の 7.59% から -0.41% へとそれぞれ減速した。新型コロナウイルス感染症の急拡大への対応として広範囲でロックダウンを実施したことが、消費だけでなく生産や物流にも大きく影響したとみられる。ただし、1 日 2 万人を超えていた新規感染者数も 8 月中旬にはピークアウトし緩やかに減少を続けており、11 月からは入国制限も緩和されている。国家経済社会開発委員会は、ワクチン供給の進展による国内感染状況の改善、入国制限緩和による観光業の回復などを理由として、2020 年には -6.1% だった実質 GDP 成長率が、2021 年は 1.2% 、2022 年には $3.5\sim 4.5\%$ に上昇すると予測している。(田村一軌)

ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

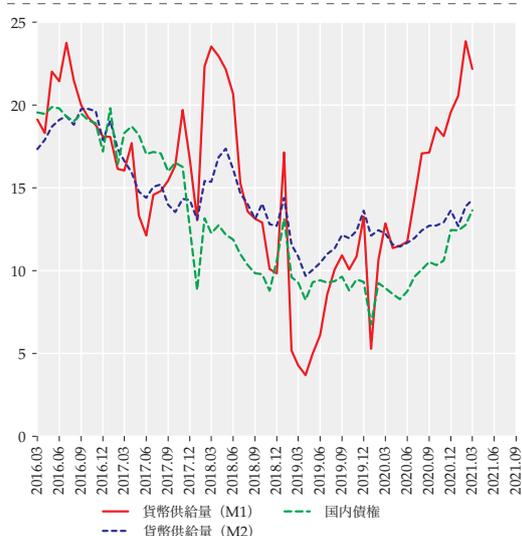


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

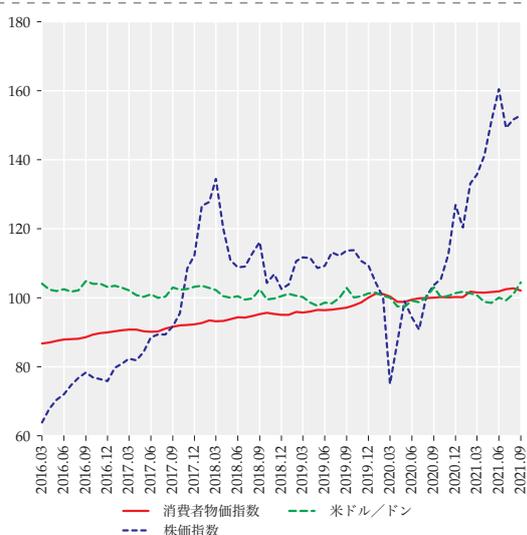
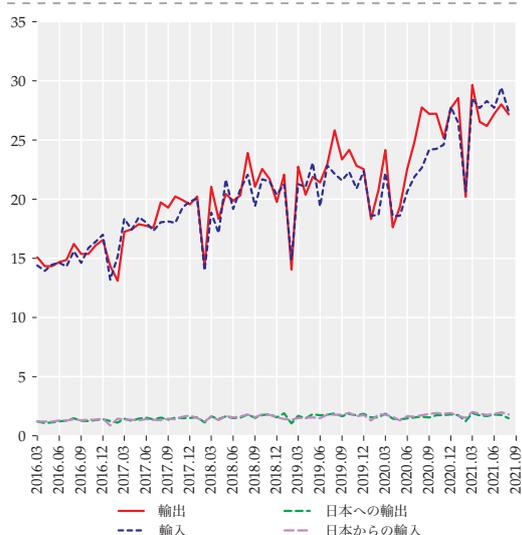


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



ベトナム経済の動向 (2021年第3四半期)

2021年第3四半期の実質 GDP 成長率は前期の 6.61 % から大幅に減速し -6.17 % となった。2021 年通年の GDP 成長率目標 (6.5 %) の達成は困難な見通しとなった。新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、7 月以降都市部を中心に厳格な社会隔離が実施された影響が大きいとみられる。部門別にみると、GDP の 3 分の 1 を占める鉱工業・建設業が -5.02 % (前期は 10.28 %) となり、前期 13.84 % と成長を牽引した製造業も -3.24 % と減速した。GDP の 4 割を占めるサービス業は -9.28 % (前期は 4.30 %) であり、特に卸売・小売業が前年同期比で -19.90 %、運輸・倉庫業が -21.10 %、宿泊・飲食業が -54.80 % と深刻な影響を受けた。新規感染者数が 9 月上旬をピークに減少を始めたことから、9 月中旬から社会隔離措置が徐々に緩和されており、今後の経済回復が期待されるが、10 月下旬から新規感染者数が再び上昇に転じており、予断を許さない。政府は 2022 年の GDP 成長率の目標値を 6.0~6.5 % に設定した。(田村一軌)

インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

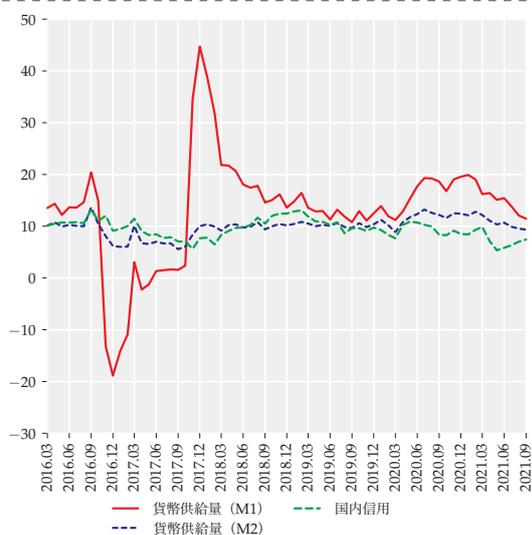


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

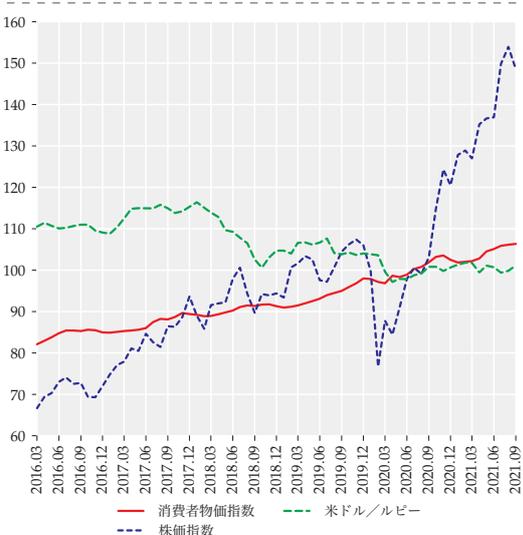
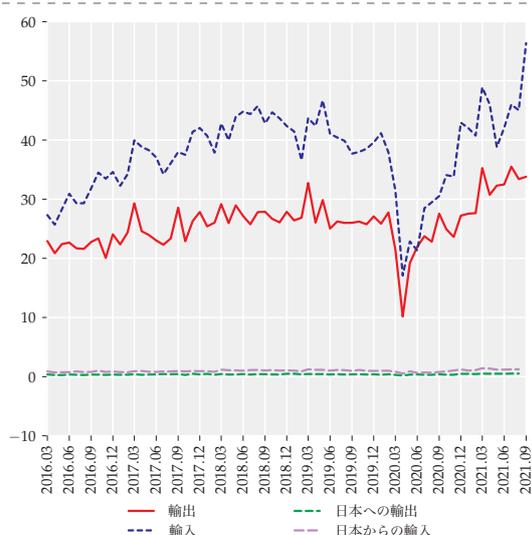


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インド経済の動向 (2021年第3四半期)

2021年第3四半期のGDP成長率は8.4%であった。この高い成長率の一部は、前年同期の成長率の低さ(-7.4%)に起因する。インド経済は、パンデミックを封じ込めるために2020年から行われたロックダウンの影響からの回復過程にある。第3四半期は全ての産業において成長率がプラスであった。産業別に見ると、行政・防衛・他サービス業と鉱業・採石業の成長率が高く、それぞれ17.4%と15.4%であった。一方で農業・林業・漁業と製造業の成長率は低く、それぞれ4.5%と5.5%であった。民間最終消費支出はパンデミック前(2019年第3四半期)より低い。貴重品(金・銀・宝飾品など)の貢献度が急増した(約270%)。専門家によると、この原因は“懸念”である。経済の不確実性が大きく、インフレをヘッジするために人々は多くの貴重品を購入しているという。2021年度のGDP成長率について政府や経済アナリストは、新型コロナウイルス感染症の深刻な波が再び発生しなければ二桁になると予想している。(プラモッド・クマール・スール)

図に関するデータの出所および注

日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *National Data (Quarterly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=B01>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *National Data (Monthly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=A01>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department (<https://www.censtatd.gov.hk/en/>)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/ct.asp?xItem=37408&CtNode=5347&mp=5>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://statdb.dgbas.gov.tw/pxweb/dialog/statfile1L.asp>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

インドネシア：

- 図 1, 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id/subject/3/inflasi.html>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia (<https://www.bi.go.id/en/statistik/informasi-kurs>)

マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, *Rates & Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/rates-statistics>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/national-accounts/base-2018/data-series>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；2021年7月から統計の集計方法が変更されたため、それ以降の前年同月比を計算していない。
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council (<https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=nationalaccount>)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatMFSSurvey.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (http://www.price.moc.go.th/en/home_en)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/market-statistics.html>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/ExchangeRate/Pages/StatExchangeRate.aspx>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatInternationalTrade.aspx>)

ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 2017年3月までの消費者物価指数および為替レート：International Monetary Fund, *International Financial Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降の消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 2017年3月まで：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降：Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

インド：

- 図1, 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2021年第3四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<https://data.imf.org/dot>)